マルチメディア
ユーザ ガイド

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 マルチメディア機能

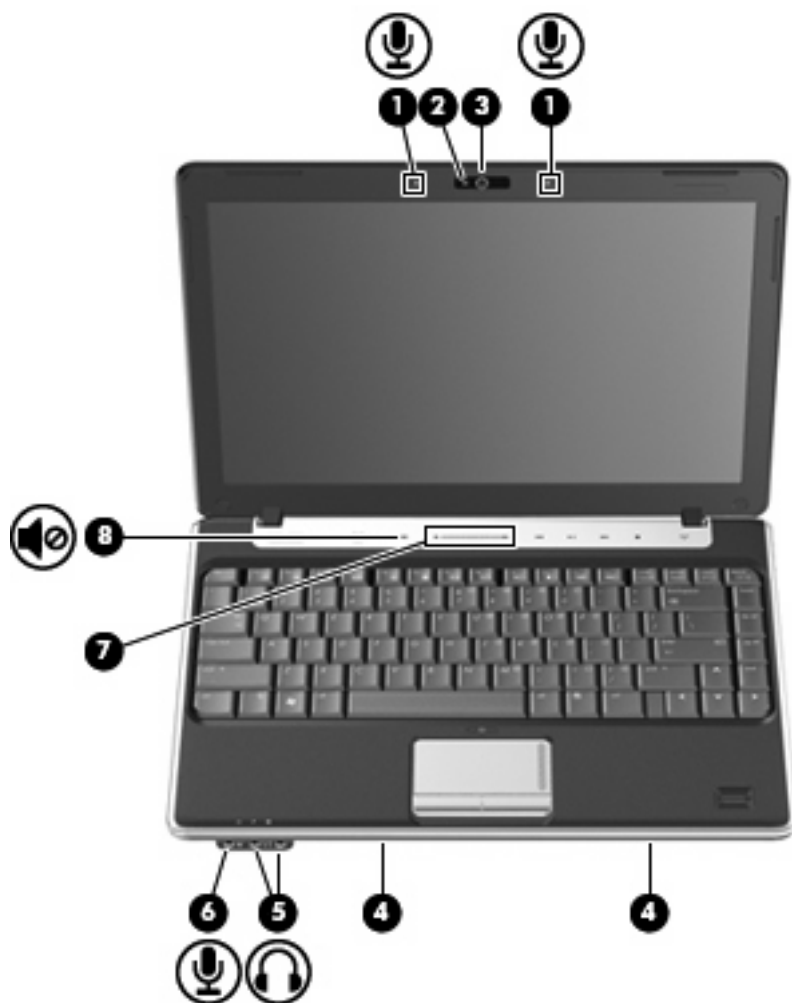
お使いのコンピュータには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。お使いのコンピュータには、以下のマルチメディア コンポーネントが含まれています。

- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ
- 音楽を再生する内蔵スピーカ
- 独自のオーディオを録音するの内蔵マイク
- 動画の撮影および共有ができる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるマルチメディア ボタンとホットキー

注記： お使いのコンピュータによっては、上記の一覧に記載されているすべてのコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピュータに搭載されているマルチメディア コンポーネントの確認および使用方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの各部

以下の図と表で、コンピュータのマルチメディア機能について説明します。

名称		説明
(1)	内蔵マイク（×2）	サウンドを録音します
(2)	Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています
(3)	Web カメラ	動画の録画や再生をします
(4)	スピーカ（×2）	サウンドを出力します
(5)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ（×2）	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続すると音がでます **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『*規定、安全、および環境に関するご注意*』を参照してください。 **注記：** ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピュータのスピーカは無効になります。

名称		説明
（6）	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ ヘッドセット マイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
（7）	音量調整スライダ	スピーカの音量を調整します
（8）	ミュート ボタン	スピーカのサウンドを消音（ミュート）したり音量を元に戻したりします

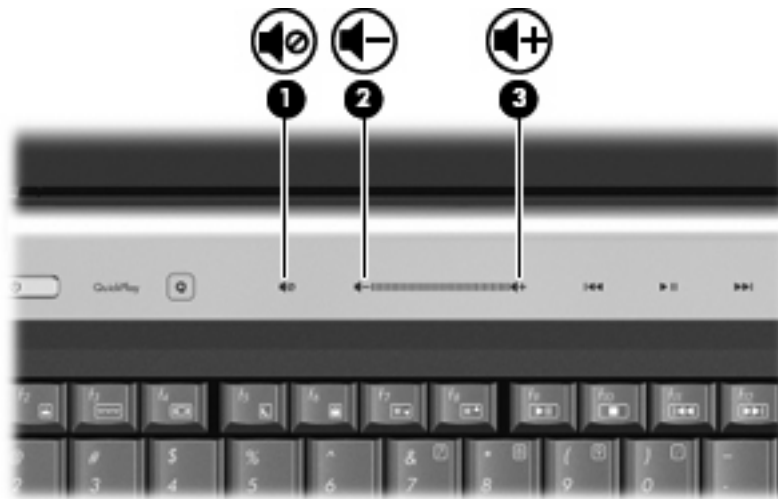
メディア ボタンの使用

メディア ボタン（**1**）を押すと[QuickPlay]プログラムが起動します。[QuickPlay]を使用して、動画や音楽を再生したり、画像を表示したりすることができます。

注記： コンピュータがログオン パスワードを要求するように設定されている場合は、Windows にログオンするよう求められることがあります。ログオン後に[QuickPlay]が表示されます。詳しくは、[QuickPlay]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- コンピュータ本体の音量ボタン：
  - 消音（ミュート）したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタン（**1**）を押します。
  - 音量を下げるには、音量調整スライダで指を右から左にスライドさせるか、 音量下げアイコン（**2**）を繰り返しタップします。
  - 音量を上げるには、音量調整スライダで指を左から右にスライドさせるか、音量上げアイコン（**3**）を繰り返しタップします。

- Windows®の[ボリューム コントロール]：

  a. タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。

  b. 音量を調整するには、スライダを上下に移動します。**[ミュート]**アイコンをクリックすると、音が出なくなります。

  -または-

  a. 通知領域の**[音量]**アイコンを右クリックして、**[音量ミキサを開く]**をクリックします。

  b. [デバイス]列で音量スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。**[ミュート]**アイコンをクリックして音を消すこともできます。

  [音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順で操作して表示します。

  a. 通知領域で右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。

  b. **[通知領域]**タブをクリックします。

  c. [システム]アイコンの下の**[音量]**チェック ボックスにチェックを入れます。

  d. **[OK]**をクリックします。

- プログラムの音量調整機能：

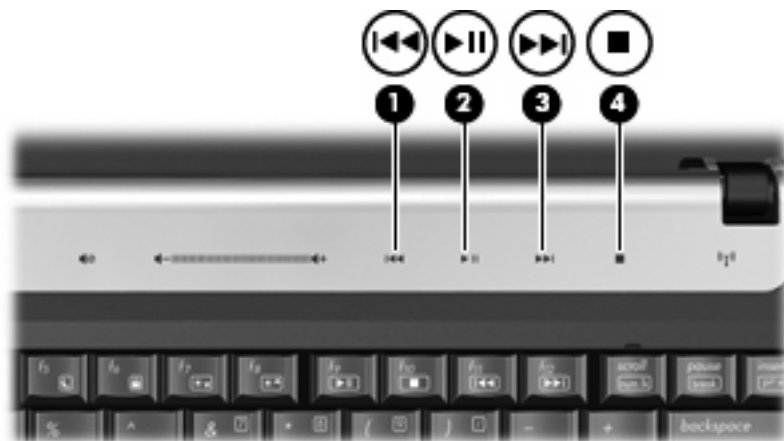
  プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

メディア操作機能の使用

メディア ボタン（一部のモデルのみ）とメディア操作ホットキーは、オプティカル ドライブ内のオーディオ CD や DVD の再生を制御します。

メディア ボタンの使用

ディスクがオプティカル ドライブに挿入されているときのメディア ボタンの機能を、以下の図と表に示します。

- 前/巻き戻しボタン（**1**）
- 再生/一時停止ボタン（**2**）
- 次/早送りボタン（**3**）
- 停止ボタン（**4**）

前/巻き戻しボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生中	前/巻き戻しボタン	前のトラックまたはチャプタを再生します
再生中	fn ＋前/巻き戻しボタン	巻き戻します

再生/一時停止ボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生していない	再生/一時停止ボタン	ディスクを再生します
再生中	再生/一時停止ボタン	再生を一時停止します

次/早送りボタン

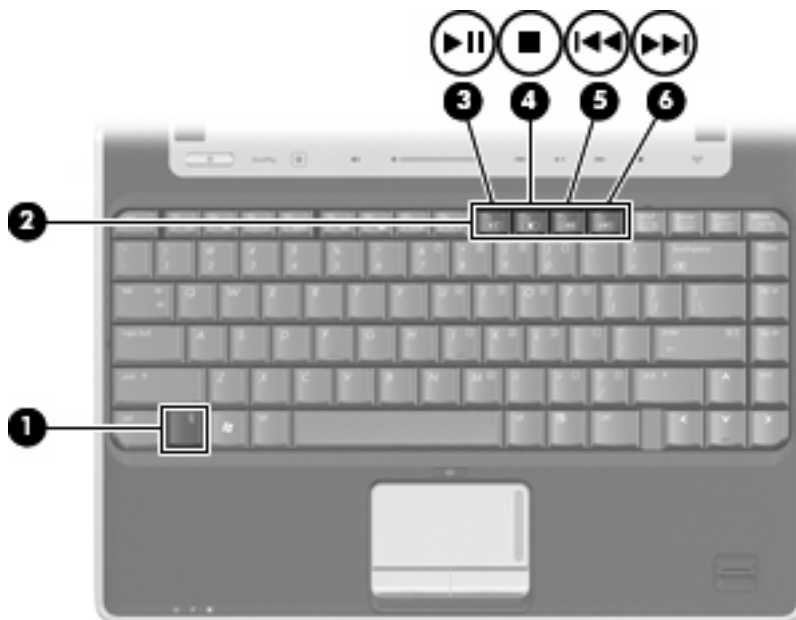
ディスクの状態	ボタン	機能
再生中	次/早送りボタン	次のトラックまたはチャプタを再生します
再生中	fn ＋次/早送りボタン	早送りします

停止ボタン

ディスクの状態	ボタン	機能
再生中	停止ボタン	再生を停止します

メディア操作ホットキーの使用

メディア操作ホットキーは、fn キー（**1**）とファンクション キー（**2**）の組み合わせです。

- オーディオ CD または DVD が再生中でない場合、fn ＋ f9（**3**）を押すとディスクが再生されます。
- オーディオ CD または DVD の再生中は、以下のホットキーを使用できます。
    - ディスクの再生を一時停止または再開するには、fn ＋ f9（**3**）を押します。
    - ディスクを停止するには、fn ＋ f10（**4**）を押します。
    - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプタを再生するには、fn ＋ f11（**5**）を押します。
    - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプタを再生するには、fn ＋ f12（**6**）を押します。

2　マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピュータには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディアソフトウェアがプリインストールされています。。ここでは、[QuickPlay]およびプリインストールされている他のマルチメディア ソフトウェアの詳細について説明します。

[QuickPlay]ソフトウェアの使用

[QuickPlay]を使用すると、お使いのコンピュータが持ち運びのできるエンターテイメント ツールに変わります。[QuickPlay]を使用すると、音楽や DVD の動画を楽しむことができます。また、カラオケCD にあわせて演奏や歌を楽しんだり（一部のモデルのみ）、放送中のテレビの視聴や録画を行ったりもできます。[QuickPlay]は、以下の機能が搭載されています。

- インターネット TV：従来のさまざまな TV 番組とチャンネルに加え、インターネット接続によってコンピュータにストリーミング配信される HP-TV チャンネルもフル スクリーンでご覧いただけます。
- プレイリストのアップロードに対応：
    - [QuickPlay]の写真のプレイリストを、Snapfish などのインターネット上の写真アルバムにアップロードできます。
    - [QuickPlay]の動画のプレイリストを YouTube にアップロードできます。
    - [QuickPlay]のプレイリストは[Cyberlink DVD Suite]（Cyberlink DVD スイート）にエクスポートできます。
- Pandora インターネット ラジオ（北米のみ）：あなたのためだけに選ばれた音楽を、インターネット経由でストリーミングできます。

[QuickPlay]を開始するには、以下の操作を行います。

▲ コンピュータのメディア ボタンを押します。

[QuickPlay]の使用方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の手順で操作します。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]でオーディオ CD を再生する場合、**[Windows Media Player]**をクリックします。

注記： プログラムがサブフォルダに存在する場合もあります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. 画面に指示が表示されたら、コンピュータを再起動します。

注記： コンピュータの付属ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

3 オーディオ

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピュータのスピーカおよび接続した外付けスピーカを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続された外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）または FM ラジオ信号の受信
- オーディオ CD の作成（書き込み）

外部オーディオ デバイスの接続

外付けスピーカ、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。良好な結果を得るため、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピュータの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピュータの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要な任意のドライバをインストールします。

注記： ドライバは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバータとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピュータのシステム サウンドを確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[ハードウェアとサウンド]**をクリックします。
3. **[サウンド]**をクリックします。
4. [サウンド]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、**[テスト]**ボタンをクリックします。

   スピーカまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピュータの録音機能を確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[サウンド レコーダ]**の順に選択します。
2. **[録音]**をクリックし、マイクにに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]または[QuickPlay]を起動して、サウンドを再生します。

注記： 録音するときに最高の音質を得るため、マイクに向かって直接声を出し、周囲のノイズのないところでサウンドを録音してください。

▲ コンピュータのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の**[サウンド]**アイコンを右クリックするか、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[オーディオ]**の順に選択します。

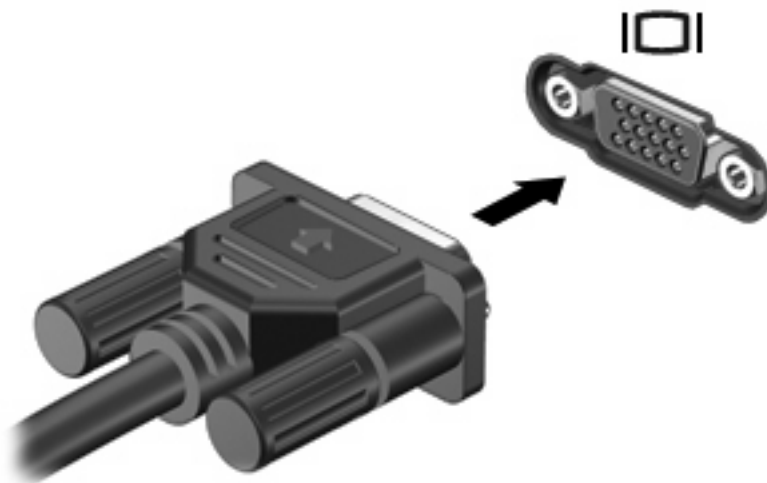
4 ビデオ

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまなビデオ機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続
- HD 対応テレビを含む（一部のモデルのみ）テレビの視聴

外付けモニタまたはプロジェクタの接続

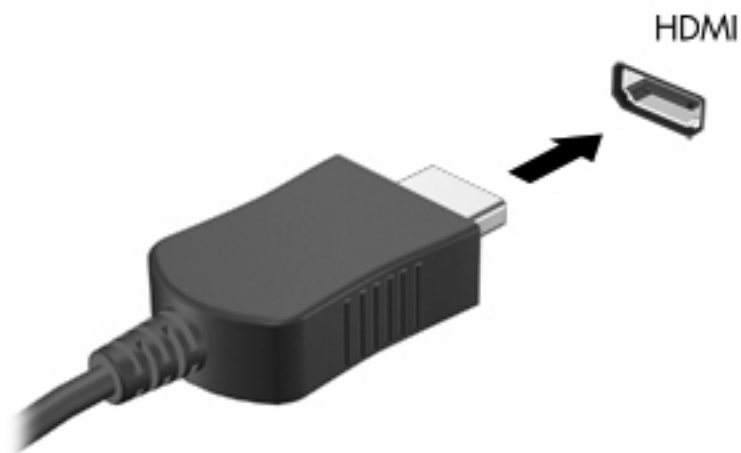
外付けモニタ コネクタによって、外付けモニタまたはプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをお使いのコンピュータに接続できます。

▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニタ コネクタに接続します。

注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、fn + f4 を押して画像をデバイスに転送します。fn + f4 を繰り返し押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

ハイビジョン デバイス（一部のモデルのみ）の接続

お使いのコンピュータの HDMI ポート（一部のモデルのみ）に HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続する場合に、最高の音質を得るには、ソフトウェア アプリケーションは[QuickPlay]を使用します。

ハイビジョン デバイスを HDMI ポートに接続するには、以下の手順で操作します。

1. HDMI デバイスの一端をコンピュータの HDMI ポートに接続します。

2. ハイビジョン デバイスに付属の説明書の説明に沿って、ケーブルのもう一方の端をハイビジョン デバイスに接続します。

5 オプティカル ドライブ

お使いのコンピュータには、コンピュータの機能を拡張するオプティカル ドライブが搭載されています。コンピュータにインストールされているデバイスの種類を識別して、その機能を確認します。オプティカル ドライブを使用すると、データ ディスクを読み取ったり、音楽や動画を再生したりできます。お使いのコンピュータにブルーレイ ディスク ROM ドライブまたは HD DVD ドライブが内蔵されている場合は、ディスクからハイビジョン ビデオを再生することもできます。

取り付けられているオプティカル ディスク ドライブの確認

▲ **[スタート]**→**[コンピュータ]**の順に選択します。

お使いのコンピュータにインストールされているオプティカル ドライブを含むすべてのデバイスの一覧が表示されます。以下のどれかの種類のドライブが含まれている可能性があります。

- DVD-ROM ドライブ
- DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ
- DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- スーパーマルチ DVD±R/RW 搭載 HD DVD-R ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- スーパーマルチ DVD±R/RW 搭載 HD DVD-ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- LightScribe DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- スーパー マルチ DVD±RW 搭載ブルーレイ ディスク ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応）

注記： 上記示すドライブによっては、コンピュータでサポートされていない場合もあります。

オプティカル ディスクの使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD のディスクの読み取りができます。オプティカル ドライブがブルーレイディスク ROM ドライブである場合、ブルーレイのディスクを読み取ることもできます。オプティカル ドライブが HD DVD ドライブである場合、HD DVD のディスクを読み取ることもできます。

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができる場合もあります。

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD+R DL への書き込み	LightScribe CD または DVD ±RW/R へのラベルの書き込み	HD DVD への書き込み
DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ	可	可	不可	不可	不可
DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ（DL 対応）	可	可	可	不可	不可
スーパーマルチ DVD±RW 搭載 HD DVD-R ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	不可	可
スーパーマルチ DVD±RW 搭載 HD DVD-ROM ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	不可	不可
LightScribe DVD ±RW/CD-RW マルチ ドライブ（DL 対応）	可	可	可	可	不可
ブルーレイ ディスク ROM ドライブ（DL のスーパー マルチ DVD±RW 対応）	可	可	可	不可	不可

注意： オーディオやビデオの劣化や情報の損失、またはオーディオやビデオの再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

情報の損失を防ぐため、CD や DVD への書き込み時にスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

正しいディスクの選択

オプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。デジタル データの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD は主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップ用に使用されます。DVD は CD と同じ形式の要素ですが、容量は 6 ～ 7 倍になります。

注記： お使いのコンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブによっては、ここで説明しているすべての種類のオプティカル ディスクをサポートしていない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R（一度だけ書き込み可能）ディスクは、永続的なアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザとファイルを共有したりするときに使用します。通常は、以下の方法で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオ クリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピュータのファイルやスキャンした記録資料などの永続的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハード ドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要のあるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の方法で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハード ドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

空の DVD±R ディスクは、大量の情報を永続的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD+RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最適です。

LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。これらのディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブやセットトップ DVD ビデオ プレー

ヤと読み取りの互換性があります。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込み、ディスクの外側にデザイナ ラベルを追加できます。

HD DVD ディスクとブルーレイ ディスク

HD DVD は、大量のデータやハイビジョンの動画を保存するために設計された高密度のディスク形式です。HD DVD ディスクは、標準的な DVD の次世代モデルとして設計されています。HD DVD の容量は、単層の場合は 15 ギガバイト（GB）、2 層の場合は 30 GB です。これは、標準的な DVD の容量のおよそ 3 倍です。

また、BD と呼ばれるブルーレイ ディスクは、ハイビジョン動画などのデジタル情報を保存する高密度のオプティカル ディスク形式です。単層のブルーレイ ディスクには 25 GB のデータを保存でき、これは単層 DVD の容量（4.7 GB）の 5 倍以上です。2 層のブルーレイ ディスクには 50 GB のデータを保存でき、これは 2 層 DVD の容量（8.5 GB）のおよそ 6 倍です。

通常は、以下の方法で使用します。

- 大量のデータの保存
- ハイビジョン動画
- PlayStation 3 のゲーム

音楽の再生

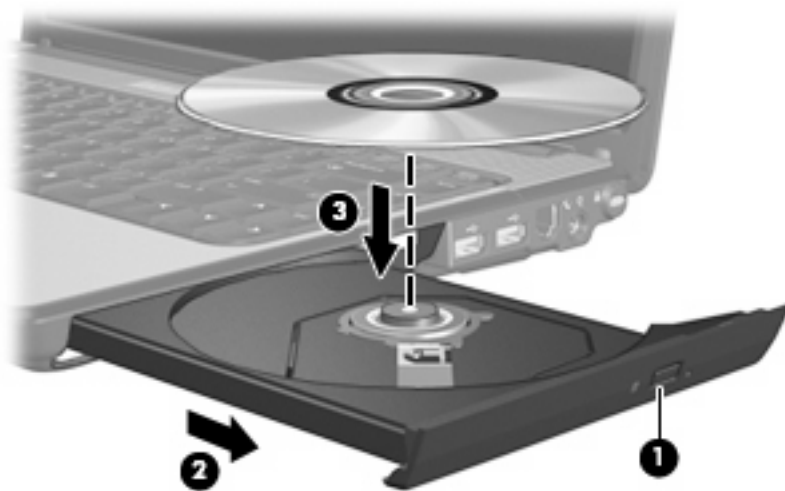
1. コンピュータの電源を入れます

2. オプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。

3. トレイを引き出します（**2**）。

4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。

   注記： メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. ディスクが確実にはまるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. ディスク トレイを閉じます。

7. 自動再生を設定していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。[QuickPlay]または[Windows Media Player]を選択します。これらはどちらもお使いのコンピュータにプリインストールされています。

注記： ディスクの挿入後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

ディスクの再生中にスリープまたはハイバネーションを開始した場合、次のことが発生します。

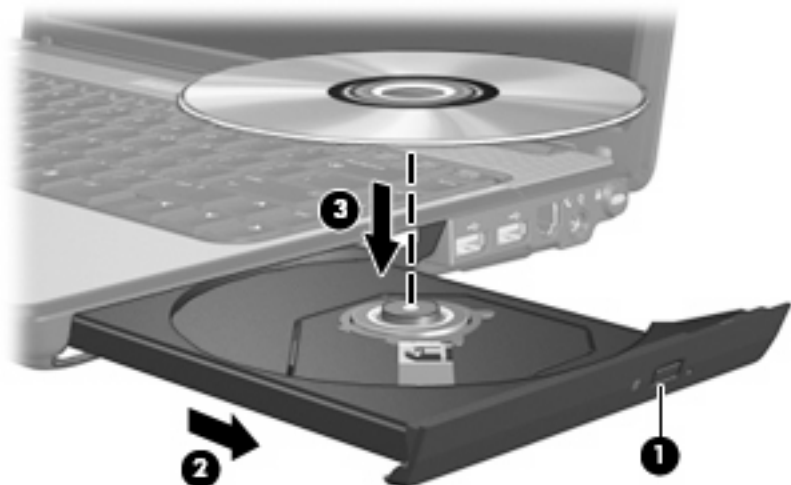
- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。
- CD または DVD を再起動し、オーディオまたはビデオの再生を再開しなければならない場合があります。

動画の再生

オプティカル ドライブを使用すると、ディスクから動画を再生できます。お使いのコンピュータにオプションのブルーレイ ディスク ROM ドライブまたはオプションの HD DVD ドライブが内蔵されている場合は、ディスクからハイビジョン ビデオを再生することもできます。

1. コンピュータの電源を入れます。
2. オプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。

   注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. ディスクが確実にはまるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. ディスク トレイを閉じます。
7. メディア ボタンを押して、[QuickPlay]の DVD 再生機能を起動します。
8. [DVD]アイコンをクリックし、画面の説明に沿って操作します。

注記： ハイビジョンの動画を再生するには、[QuickPlay]を使用する必要があります。. 標準的な形式の動画を再生するには、[QuickPlay]またはその他のマルチメディア ソフトウェアを使用できます。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードにより著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

△ **注意：** DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[コンピュータ]→[システムのプロパティ]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。

   注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行う時に、ユーザのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横の「＋」記号をクリックします。
4. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**を右クリックし、地域の設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、**[プロパティ]**をクリックします。
5. **[DVD 地域]**タブで地域を変更します。
6. **[OK]**をクリックします。

CD および DVD の作成または「書き込み」

お使いのコンピュータに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[Cyberlink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータやオーディオ ファイルを書き込むことができます。動画ファイルを CD または DVD に書き込むには、[MyDVD]を使用します。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインに従ってください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じてください。
- CD-R や DVD-R は、情報をコピーした後は変更できないため、通常はオーディオ ファイルの書き込みに最適です。

注記： [Cyberlink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。

- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- CD-RW や DVD-RW は、一般的にはデータ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録をテストする場合に最適です。
- ホーム システムで使用される DVD プレーヤは、通常、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、お買い上げの DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、また MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の手順で操作します。

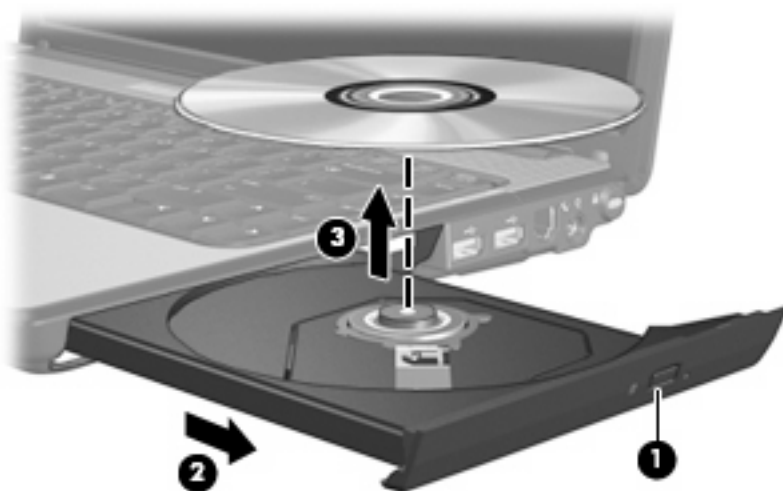
1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD を、オプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。
4. データ、オーディオ、またはビデオなど、作成する CD または DVD の種類を選択します。
5. **[スタート]**→**[エクスプローラ]**の順に右クリックして、元のファイルを保存したフォルダに移動します。
6. フォルダを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムで指示されているとおりに書き込み処理を開始します。

固有の説明について詳しくは、ソフトウェアのヘルプ ファイルか説明書等を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

△ 注意： 著作権に関する警告に従ってください。コンピュータ プログラム、フィルム、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

オプティカル ディスク（CD または DVD）の取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

6　Web カメラ

お使いのコンピュータには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラは、動画の取り込みと共有を可能にする入力デバイスです。プリインストールされている[CyberLink YouCam]ソフトウェアでは、Web カメラの機能を拡張する新機能が提供されています。

Web カメラおよび[CyberLink YouCam]ソフトウェアにアクセスするには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[CyberLink YouCam]→[YouCam]**の順に選択します。

注記：　[YouCam]ソフトウェアに初めてアクセスしたときに、ソフトウェアが起動するまでに多少時間がかかる場合があります。

[YouCam]を初期設定の Web カメラ ソフトウェアとして使用すると、以下の機能を利用できます。

- 動画：Web カメラで動画の録画や再生をします。また、ソフトウェア インタフェースのアイコンを使用して、動画を電子メールで送信したり、YouTube にアップロードしたりできます。
- 動画の再生：インスタント メッセージ プログラムを起動すると、[YouCam]によってツールバーが表示されます。そのツールバーからグラフィックスによる効果を追加できます。
- 特殊効果：フレーム、フィルタ、およびエモティコン（顔文字）を写真や動画に追加できます。
- スナップ写真：写真を 1 枚ずつ撮影したり、一気に連続して撮影したりできます。
- 接続：ソフトウェア インタフェースのアイコンを使用して、写真や動画を電子メールで送信できます。

注記：　Web カメラ ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

Web カメラ使用上の注意

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラの使用時は以下のガイドラインに従ってください。

- 動画によるチャットを行う前に、インスタント メッセージ プログラムが最新のバージョンであることを確認してください。
- お使いのネットワーク ファイアウォールによっては、Web カメラが正しく動作しない場合があります。別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザと通信するときに動画の表示や送信に問題が生じる場合は、一時的にファイアウォールを無効にしてください。

注記： 特定の状況下では、ファイアウォールはインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を永久に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

- 可能な限り、カメラの後方から明るい光源を当て、写真領域の外に移動してください。

Web カメラのプロパティの調整

[プロパティ]ダイアログ ボックスを使用して、Web カメラのプロパティを調整できます。このダイアログ ボックスには、内蔵カメラを使用する各種プログラムの構成、設定、またはプロパティ メニューから通常はアクセスできます。

- **[輝度]**：画像に取り込まれる光の量を調整します。高い輝度を設定するとより明るい画像になり、低い輝度を設定するとより暗い画像になります。
- **[コントラスト]**：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、下の情報のダイナミック レンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- **[色相]**：他の色（赤、緑、または青など）から区別する色合いを制御します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- **[色彩]**：最終的な画像の色みの強さを調整します。彩度を高く設定するとより鮮やかな画像になり、彩度を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- **[シャープネス]**：画像の境界線の緻密さを調整します。高いシャープネスを設定するとより鮮明なイメージになり、低いシャープネスを設定するとソフトなイメージになります。
- **[ガンマ]**：中間レベルのグレーまたはイメージの中間トーンに影響するコントラストを調整します。イメージのガンマを調整すると、シャドウとハイライトを大幅に変更せずに、中間グレートーンの明度値を変更できます。低いガンマを設定すると灰色は黒に近くなり、暗い色はさらに暗い色になります。
- **[バックライト補正]**：バックライトの明るさを調整します。（バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します。）

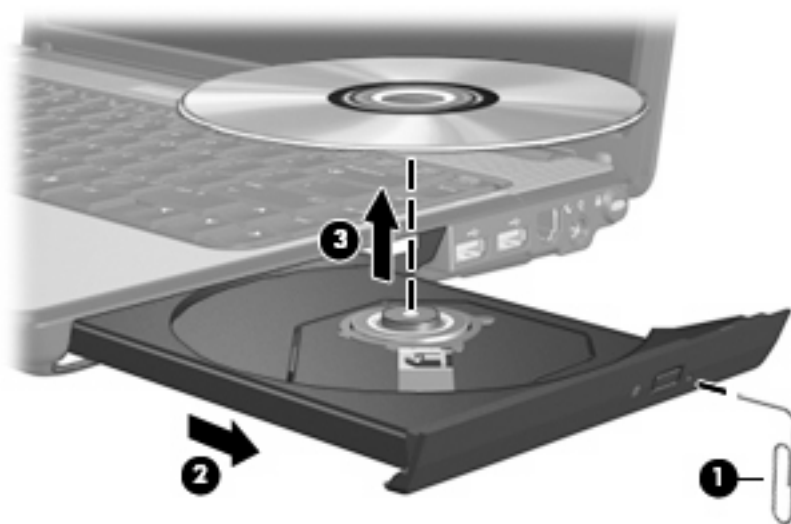
Web カメラの使用方法については、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

7　トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD または DVD を取り出せない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスク トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合

Windows が取り付けられているデバイスを検出しない場合、デバイス ドライバ ソフトウェアがなくなったか壊れている可能性があります。DVD/CD-ROM ドライブが検出されていないことが疑われる場合は、オプティカル ドライブが[デバイス マネージャ]ユーティリティに一覧表示されていることを確認してください。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスにデバイス マネージャと入力します。

   入力すると、検索結果がボックスの上に一覧表示されます。
3. 検索結果の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（−）がすでに表示されている場合を除き、**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。

   ドライブが表示されていない場合は、以下の項目の説明に沿って、デバイス ドライバをインストール（または再インストール）します。

ディスクが再生できない場合

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認してください。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水と柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクは中央から端の方に向かって拭いてください。
- ディスクに傷がないことを確認します。傷がある場合は、多くの電器店で入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで手入れしてください。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。開始する場合、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると、次のようになります。

  ◦ 再生が再開します。

  または

  ◦ マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動が必要になることもあります。

- システム リソースを増やします。
  - プリンタとスキャナの電源を切り、カメラと携帯電話デバイスの電源ケーブルを抜きます。これらのプラグ アンド プレイ デバイスを切断することで、システム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないので、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げた場合、動画の再生時に色が失われても気がつきません。

    1. コンピュータ デスクトップの空白部分を右クリックして、**[個人設定]→[ディスプレイの設定]**の順に選択します。

    2. 設定がまだ選択されていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します（）。

ディスクが自動再生されない場合

1. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスに自動再生と入力します。

   入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。

2. 検索結果の枠内で、**[自動再生]**をクリックします。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。

3. **[すべてのメディアとデバイスに自動再生を行う]**チェック ボックスにチェックを入れ、**[保存]**をクリックします。

   これで、CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- **[再生]**ボタンを押します。誤って動画を一時停止している場合があります。
- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
  - インターネットからログオフします。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。

    1. コンピュータ デスクトップの空白部分を右クリックし、**[個人設定]→[ディスプレイの設定]**の順に選択します。

    2. 設定がまだされていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します（）。
  - プリンタ、スキャナ、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

DVD の動画が外部ディスプレイに表示されない場合

1. コンピュータのディスプレイと外部ディスプレイの両方の電源が入っている場合は、fn + f4 を 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニタの設定を行います。
   a. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]**→**[ディスプレイの設定]**の順に選択します。
   b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

注記：　両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問については、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**を参照してください。

ディスクの書き込み処理が開始されない、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハード ドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャ]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバを再インストールします。

デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスにデバイス マネージャと入力します。

   入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。
3. 検索結果の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]で、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、アンインストールおよび再インストールするドライバの種類（DVD/CD-ROM、モデムなど）の横にあるプラス記号（＋）をクリックします。
5. 表示されているドライバをクリックし、delete キーを押します。確認のメッセージが表示されたら、ドライバを削除したことを確認してください。ただし、コンピュータは再起動しないでください。

   削除するその他のすべてのドライバでこの操作を繰り返します。
6. [デバイス マネージャ]ウィンドウでツールバーの[ハードウェア変更のスキャン]アイコンをクリックします。Windows は、システムをスキャンしてインストールされているハードウェアを検出し、ドライバに必要な初期設定のドライバをインストールします。

   注記： コンピュータを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。
7. 必要に応じて[デバイス マネージャ]を再び開き、ドライバが表示されていることを確認します。
8. プログラムを再度実行します。

初期設定のデバイス ドライバをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合は、以下の項目の手順に沿ってドライバを更新する必要があります。

最新の HP デバイス ドライバの入手

最新の HP デバイス ドライバは以下のどちらかの方法で入手できます。

- [HP Update Utility]（HP アップデート ユーティリティ）の使用
- HP の Web サイトの使用

[HP Update Utility]を使用するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Update]**（HP アップデート）の順に選択します。
2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[Settings]**（設定）をクリックし、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。
3. **[Next]**（次へ）をクリックして、HP ソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の手順で操作します。

1. インターネット ブラウザを開き、http://www.hp.com/jp/から**[ドライバ&ソフトウェアダウンロード]**を選択します。
2. **[ドライバ&ソフトウェアダウンロード]**ページで、お使いのコンピュータの製品名または製品番号を**[製品名・番号で検索]**フィールドに入力し、**[enter]**キーを押します。

   または

   特定の SoftPaq が必要な場合は、ページ上部の**[検索]**フィールドに SoftPaq 番号を入力し、**[enter]**キーを押して直接検索することもできます。
3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. [Windows Vista®オペレーティング システム]をクリックします。
5. ドライバの一覧が表示されたら、更新されたドライバをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
6. ファイルをダウンロードしないで更新されたドライバをインストールするには、**[Install now]**（今すぐインストール）をクリックします。

   または

   コンピュータにファイルを保存するには、**[Download only]**（ダウンロードのみ）をクリックします。メッセージが表示されたら、**[Save]**（保存）をクリックしてハード ドライブ上のファイルの保存場所を選択します。

   ファイルをダウンロードしたら、ファイルを保存したフォルダに移動し、ダブルクリックしてインストールします。
7. 画面に指示が表示されたら、インストールが終了した後でコンピュータを再起動して、デバイスの動作を確認します。

最新の Windows デバイス ドライバの入手

[Microsoft® Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバを入手できます。この Windows の機能では、Windows オペレーティング システムおよびその他の Microsoft 製品の更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Microsoft Update]を使用するには、以下の手順で操作します。

1. インターネット ブラウザを開いて http://www.microsoft.com/ja/jp/に移動します。
2. **[セキュリティ & アップデート]**をクリックします。
3. **[Microsoft Update]**をクリックしてコンピュータのオペレーティング システム、プログラム、およびハードウェアの最新の更新情報を入手します。
4. 画面の説明に沿って操作し、[Microsoft Update]をインストールします。ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
5. **[変更する]**をクリックして、[Microsoft Update]で Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品のアップデートを確認する時間を選択します。
6. コンピュータの再起動を要求するメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

索引